

インターバンクの声（2015年7月29日）

先週末、6月の米新築住宅販売件数が市場予想を大きく下回ったが、昨晚の5月S&P/ケース・シラー住宅価格指数も市場予想を下回り、ひと頃に比べると米国の住宅関連周辺経済の伸びが鈍化しているような気がする。もっとも、昨晚は懸念されていた中国株の急落が中国当局の株価下支え策を維持するとの表明に下げ幅が縮小したことで、リスク回避の姿勢が緩んだことが市場参加者にとっての安心感に繋がっていたようだ。先週のはじめから600ドル超も下落していたニューヨーク・ダウもようやく200ドル近く上昇して引けており、おそらくこの水準近くで連邦公開市場委員会（FOMC）の声明発表を待つことになりそうだ。ドルも対円で123円台中盤、対ユーロも1.10ドル台と過去2週間の相場の平均的なレベルでFOMCを迎えることになりそうで、FOMCの結果次第で上下どちらにも対応が取り易そうだ。9月の利上げ開始が確認出来なければ、市場は再び落胆するようなことにもなりそうだが、ギリシャ問題や中国経済問題はいつでも火が吹きそうな状況に変わりはなく、8月も素直に夏休み相場に突入とは行かないだろう。

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。